

登録コード	F9000790	開講年度	2026				
授業科目	教育実習事前・事後指導					担当教員	河村 隆 他
英文授業名	Before and After Guidance of Practice Teaching					副担当	藤井 善章・小山 茂喜
単位数	1	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	学部4年
講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	22Fカリ						
	【2020年度以降カリウム対象】必要な情報を的確に収集し理解できるとともに、自ら適切な手段により発信し、他者に働きかける能力が身に付いている					・教職課程の内容を実践的な観点から再構成し教育実習に臨むことができるようになる。 ・教育実習を振り返り、自らの課題を見出し教育実践演習に学びをつなげることができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	4年次で教育実習を受けるにあたっての事前指導として、教材開発、子ども理解、指導案の作成、模擬授業、授業参観や授業分析の在り方について学び、実習後に自己の実習を振り返り、課題と達成できた内容を総括して、今後の教師としてのキャリアアップの視点を見出す。						
(5)授業計画	事前指導 1. 教育実習オリエンテーション 2. 授業参観・授業分析 3. 学習指導案作成 4. 学習指導検討 5. 板書計画等 6. 模擬授業 7. 模擬授業の分析 事後指導 8. 教育実習の反省会と教職実践演習に向けての課題の明確化						
(6)成績評価の方法	事前での学習への取り組みと、教育実習の振り返りの内容等により、総合的に評価します。						
(7)成績評価の基準	評価基準 合格水準…学習の視点を明確にして、教材開発や指導案を作成することができる。 上位水準…学習のねらいに即した学習指導案を作成し、場の状況に応じて、臨機応変に学習内容や学習方法を変更し、生徒が意欲的に学ぶ方策を取ることができる。 授業の達成目標の水準にあるか否かの基準は次の通りです。 卓越している（秀，90～100点） かなり上にある（優，80～89点） やや上にある（良，70～79点） 水準にある（可，60～69点） 水準よりやや下にある（不可，50～59点） 水準にない（不可，49点以下）						
(8)事前事後学習の内容	教育実習安心ハンドブックなどを参考に、授業参観の在り方や子どもへの対応の仕方、教材開発等について、主体的に事前の準備を行う。 教科書分析を事前に行い、授業設計に必要な素材を収集する。生徒が興味関心を持って学習に参加したくなる教材を開発する。 役者としての教師の役割や実験観察の指南役としての役割などが、模擬授業の中できちんと展開できるよう具体的に練習する。						
(9)履修上の注意	必要に応じて指示します。 教育実習録を教職ポートフォリオに登録する。						
(10)質問、相談への対応	・質問・相談はなるべく授業中に行なって下さい。 ・授業以外の時間帯での質問・相談は、随時、受け付けます。 教職相談室（松本）：kyousho@shinshu-u.ac.jp 小山：shigeki@shinshu-u.ac.jp 藤井：fujiiy@shinshu-u.ac.jp						
(11)学生へのメッセージ	・教員採用試験に挑戦することを前提にしています。						
(12)その他							
【教科書】	小山茂喜編「教育実習安心ハンドブック」学事出版（2018）						
【参考書】	中学校学習指導要領 高等学校学習指導要領 中学校学習指導要領解説 総則編 高等学校学習指導要領 総則編 中学校学習指導要領解説 理科編 高等学校学習指導要領解説 理科編 理数編 実習校で使用する教科書						